

令和6年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：教授

氏名：鈴木秀洋

<p>研究課題名</p>	<p>多様な個々人の安全・安心を守るための法制度設計・運営のための調査研究</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>主に、行政が関与する様々な制度設計及び諸活動について、多様な個々人の安全・安心を守るための法体系とその運用という観点から研究を進める。 多様な個々人の安全・安心を守るためには、ダイバシティ&エクイティ&インクルージョン概念(DEI) の理解と具体的実現が不可欠となる。具体的実現の効果測定としては、行政側の視点のみならず、国民・住民側の視点、すなわち当事者の立場からの検証が重要である。 この当事者の視点から、具体的には、特に子ども分野、ジェンダー分野、性的マイノリティの支援分野、災害時要配慮者の分野において、文献調査、自治体の施策比較、ヒアリング調査等を進めるとともに、行政への提言も行った。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>研究実績</p> <p><論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木秀洋「フルインクルーシブ先進国イタリアの現地視察を踏まえた分析と考察(2)——日本でのインクルージョン推進の視点をもって」『自治研究』第101巻第4号、52-78、2025年3月. ・鈴木秀洋「人を尊重するということ—公正さとインクルージョン」『ひょうご人権ジャーナルきずな』、2025年3・4月号、3、2025年3月. ・鈴木秀洋「フルインクルーシブ先進国イタリアの現地視察を踏まえた分析と考察(1)——日本でのインクルージョン推進の視点をもって」『自治研究』第101巻第3号、91-110、2025年2月. ・鈴木秀洋「『LGBTQ理解増進法』の法的理解と地域や職場での展開」『産業精神保健』第32巻4号、339-342、2024年11月. ・鈴木秀洋「ブックレビュー 自治体のヤングケアラー支援」『自治実務セミナー』749、71、2024年11月. ・鈴木秀洋「災害時の女性・要配慮者のウェルネス(健康)向上の危機管理」『We learn』844号、4-7、2024年9月. ・鈴木秀洋「女性支援新法は困難を抱える女性の景色を変えることができるか」『参加システム』Vol. 24 No. 3(152)、3、2024年5月. <p><書籍></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木秀洋「第12章 行政事件訴訟」、池村正道編『行政法 [第5版]』p. 243-296、弘文堂、2025年2月. ・鈴木秀洋執筆 第6章「子どもと家庭の福祉」、編集代表 母子愛育会愛育研究所所長 竹田省『日本子ども資料年鑑2025』p. 189-234.、社会福祉法人恩賜財団 母子愛育会 愛育研究所、2025年2月.